

重松農園

重松良輔さん 福岡裕美さん
朝倉市

たくさんの人の手と
愛情で育てました

援農を味わってみま
せんか？

大学卒業後、会計事務所に勤務し、税理士を目指していた重松さん。2017年7月に発生した九州北部豪雨にて、被災した朝倉市に災害復旧ボランティアとして駆けつけます。農作業、炊き出し及び住宅の土砂撤去等、様々な復興支援に携わる中で、地域住民との繋がり、温かさを感じたとのこと。「何かしらの形で朝倉市の力になりたい。」その一心で、朝倉市で新規就農を決意します。

就農にあたっては、地元のベテラン農家より技術指導を受けました。さらに専門的に勉強したいと考えていたころ、道の駅事務局より有機栽培に取り組む民間のビジネススクール、アグリガーデンスクール＆アカデミー（以下「AGSA」という。）卒業生の紹介を受け、知識習得のために入校。農業を科学的な側面から論理的に学ぶことができたとのこと。

2020年、朝倉市で育った美味しい農産物を多くの方に知ってもらいたいとの思いで、重松農園を設立。日々研究を繰り返し、美味しくなるために試行錯誤しながら食欲に勉強しています。

重松農園

栽培品目：柿、多品目野菜、水稻
栽培面積：1.4ha
販路：道の駅、マルシェ、ネット通販

Website
<https://www.shigematsu-noen.com>



🌱 有機栽培の概要

1. 有機栽培の取組

重松農園では、柿と一部野菜をAGSAで学んだBLOF理論にアレンジを加え栽培。BLOF理論では、有機肥料によりアミノ酸を供給し、土壌分析・施肥設計にもとづき、ミネラルの供給等行うことで植物が本来持つ力を最大限に引き出すための環境づくりを実践。加えて、柿については、もみ殻、麦藁を利用。水田跡地の圃場では、粘土質であるため、もみ殻をすき込むことで、水はけを良くし、土壌を改善。麦藁については、病原菌の殺菌、土壌の団粒構造の形成に役立つバチルス菌が含まれるため木の周りに敷く等工夫しています。

2. こだわりポイント

柿には、病害虫対策として、糸島の牡蠣殻を粉碎して散布。牡蠣殻によって、カルシウム、マグネシウム、マンガン等の作物の成長に不可欠な成分を土壌に補給することで、生育障害や病害虫の発生を防止。併せて、ミントを植えることで、天敵のカメムシ対策を実践しています。



重松農園HPより

🌱 経営面の取組・工夫

販路について、野菜は近くの道の駅、柿はイベント、マルシェ、ネット販売が中心です。売り切れない場合は、青果市場への出荷や6次化に取り組んでいます。

6次化では「柿のドライチップ」、「柿の葉茶」に取り組むことで付加価値を付けて販売しています。今後は柿酢や柿ジュースの新商品を開発予定。柿は繊維や種があり、果汁が少ないから難しいと言われていますが、挑戦していきたいそうです。



重松農園HPより



柿ドライチップ

🌱 今後の展開

地元の信頼が厚く、農地に関し、たくさんの方から借りて欲しいと声がかかります。現在、圃場が分散しているため、集約を行いたい意向。そして6次化による付加価値を付けた新商品の開発や安定した販路開拓を行った後に、少しずつ無理がない程度に規模拡大を検討したいとのこと。

重松農園は、地元の協力農家、大学のボランティアサークル、さらには、令和6年に立ち上げた一般社団法人リタハウスによる、不登校や発達障害児等の農業ボランティアを通して、様々な方の協力や愛情が加わった農産物を作っています。その思いを大事にし、今後も営農を頑張りたいとのことでした。

もっと聞いてみました！

Q. 新規就農にあたり、農地、機械や道具はどのように？

A. 災害ボランティアにて、地元住民との関係構築ができていたため、農地は難なく借りることができました。併せて機械や道具も無償で借りています。

農地を貸してくれた地主の方は、技術指導を含め、毎日作業を手伝いをしてくれる等地域住民の方々に支えられています。



重松農園HPより

Q. 災害ボランティアサークルとの繋がりとは？

A. 九州は、毎年のように梅雨時期に大雨が降り、頻繁に災害が発生しています。そのため、学生の災害ボランティアサークルとの繋がりを大切にしています。平時は農業ボランティアとして、繁忙期に手伝ってもらう中で、防災食づくりや炊き出しの練習を行い、有事には災害ボランティアとして一緒に活動しています。

Q. 就農して大変だったこと？

A. 朝倉市出身ではないため、最初は、方言が強く何て言っているかわかりませんでした。農業知識がない状態で就農したため、様々な方からアドバイスをもらいましたが、経験や勘を頼りに、肥料の量、柿の剪定の仕方にしても人によって異なるため、理解するのに苦労しました。ある人から「この枝は切ったほうが良いよ。」と言われ切ったら、次の日には

別の人から「なんでこの枝を切ったの？」と言われたことも。

Q. リタハウスでの活動とは？

A. 不登校や発達障害児の方等を対象に農業体験を目的としています。農業を通したモノづくりや生産から販売までの流れ（6次化）等の一連の作業を実際に体験するなかで、自分の好きな分野を見つけてもらい、支援することができたらいいなと思っています。現在、少しずつですが、活動を始めたところです。